

議連「科学技術と政策の会」が緊急役員会

排ガス浄化作用「ロジウムを凌駕」 高耐久な多元素ナノ合金触媒開発

科学新聞

週刊

(金曜日発行)

発行所 科学新聞社

本社(〒105-0013)

東京都港区浜松町1-2-13

電話 03-3434-3741

FAX 03-3434-3745

mail:edit@sci-news.co.jp

振替 00170-8-33592

購読料 1カ月

2,200円(消費税込み)

複合材料の拠点構築へ

京大・信州大など

従来は合金にならなかつた複数の元素を原子レベルで混ぜることで、高機能の材料を創製する。京都大学大学院理学研究科の北川宏教授、草田康平特定助教、信州大学先鋭領域融合研究群先鋭材料研究所の古山通久教授、名古屋大学大学院工学研究科の永岡勝教授、九州大学大学院工学研究院の松村晶教授らの研究グループは、自動車排ガス浄化で最も高い性能を持つロジウムを凌駕する、高耐久な多元素ナノ合金触媒の開発に成功した。Advanced Materialsに掲載された。北川教授は「我々の研究室では約40種類の金属原子を合成させることに成功しており、この技術を用いて、複合材料の拠点を構築していく。また触媒については、企業と大型の共同研究を進めていく予定だ」と話す。

科学技術関係予算 積算方法を見直し

井上信治科学技術政策担当大臣は12日の記者会見で、科学技術関係予算の積算方法を見直すことを表明した。第5期科学技術基本計画期間の科学技術関係予算は28.6兆円(地方分約5000億円含まず)、今年度には執行しないグリーンイノベーション基金事業と大学ファンドを除いても26.1兆円と、目標の26兆円を大きく上回った。

しかし、この中には国勢調査の予算や国民生活センターの運営交付金など、集計方法が変わったことで含まれるようになつたものもあり、集計方法自体に批判があった。

井上大臣は「私も国民生活センターが科学技術関係予算に含まれていることは知らなかつた。5期計画期間の再集計は行わないが、第6期計画期間については、集計方法を精査する」と話した。

今回の研究では、パラジウム・ルテニウム合金に第3の元素を非平衡化学還元法で混ぜることで、高活性で高耐久性の触媒を探索した。具体的には、各金属イ

そじで適用したのが、ハジウムよりも資源量が豊富なパラジウムとルテニウムの固溶化に成功し、同等のNOx浄化性能を実現している。しかし、もともと混ざらない金属同士の組み合いで、この合金は高温になると次第に固定構造が崩れ、劣化してしまうことがわかった。

研究グループは以前、ロジウムよりも高耐久性を実現していなかった。しかし、もともと混ざらない金属同士の組み合いで、この合金は高

温にさらされると次第に固定構造が崩れ、劣化してしまつことがわかった。

さじで適用したのが、ハ

北川教授「1万点のデータ構築が目標」

自動車の排ガス規制は年々厳しくなり、NOxを効率よく浄化できるロジウムの価格も年々上がり続けている。3月9日時点でのロジウムの地金価格は1gあたり10万2057円と金の15倍になっている。

研究グループは以前、ロジウムよりも資源量が豊富なパラジウムとルテニウムを初めて原子レベルで混ぜて、この合金は高

温強度、熱的安定性、耐腐食性などを示すため、構造材料を中心に研究開発が行われている。今回の研究では、パラジウム・ルテニウム合金に第3の元素を非平衡化学還元法で混ぜることで、高活性で高耐久性の触媒を探索した。具体的には、各金属イ

ソジウムよりも高耐久性を実現している。しかし、もともと混ざらない金属同士の組み合いで、この合金は高温にさらされると次第に固定構造が崩れ、劣化してしまつことがわかった。

さじで適用したのが、ハジウムよりも資源量が豊富なパラジウムとルテニウムの固溶化に成功し、同等のNOx浄化性能を実現している。しかし、もともと混ざらない金属同士の組み合いで、この合金は高

温にさらされると次第に固定構造が崩れ、劣化してしまつことがわかった。

さじで適用したのが、ハ

日本化学会春季年会 オンラインで開催⁴

北川教授グループにJST事業の支援

米国や欧州では、材料開発の拠点構築が行われており、日本の研究開発に大きな投資は急務となっている。そうした中、文部科学省は12月に「2021年度の戦略目標」とした未踏の多元素・複合・準安定物質研究を中心とするグループにも、JST戦略創造研究推進事業(CREST、ERATO、さきがけ)による支援が行われることになりそうだ。

発表メカニズム解明と物質創製・プロセ

ス技術の確立が挙げられている。北川教

授を中心とするグループでも、JST戦

略創造研究推進事業(CREST、E

RATO、さきがけ)による支援が行わ

れることになりそうだ。

これまでの多元素・複合・準安定物質

研究空間の開拓では、具体的な研究例

として、多元素・複合における機能

を公表した。その一つ「元素戦略を基軸

とした未踏の多元素・複合・準安定物質

研究空間の開拓では、具体的な研究例

として、多元素・複合における機能

を公表した。その一つ「元素戦略を基軸